

木曽ヒノキのアロマキャンドル

矢澤亜衣 寺平椎菜

〈 研究背景・動機 〉

木曽ヒノキの香りを活かした新しいものづくりをして
おしゃれに木曽を盛りあげる

〈 研究目的 〉

木曽ヒノキを使った新しい加工方法で
様々な世代の方に香りを楽しんでもらいたい

〈 研究活動・内容・実験 〉

●キャンドル試作

ろうを溶かし木曽ヒノキの屑
と花を紙コップに流し固める



ヒノキの香りはしなかった



ヒノキの端材を超仕上げ鉋版で鉋屑を作る鉋屑を水で煮詰めて抽出する

●天然木曽檜の香りだし



ヒノキの水とろうを火にかけ
混ぜたものを固める



分離してかたまらなかった

●ヒノキの水でキャンドル試作



ろうは油と同じ疎水性の物質のため混ざり合う。
なので、水は混ざり合わない

●アロマキャンドルの試作

ろうにアロマオイルを火にか
け混ぜたものを固める



煙臭かったが、
アロマの香りもした



〈 反省・まとめ 〉

アロマオイルならろうと分離しないことが分かった。
香りも研究次第でしっかり香ると思った
オイルを作るための研究をより細かくすることができればよかった